

プロジェクト完成式



Colaboración del
Pueblo Japonés

2018年9月24日

9月24日、ハバナ県ハバナ・ビエハ区にて、草の根・人間の安全保障無償資金協力案件「ハバナ県ハバナ・ビエハ区ラファエル・マリア・デ・メンディベ小学校機材整備計画」の完成式が行われました。式典には、渡邊優大使が出席し、被供与団体である多文化融合発展協会・パンドラ・キューバ事務所のホセ・ムリージョ代表のほか、ロランド・ルイス教育省経済担当次官、ジョニエル・ガルシア教育省ハバナ支部代表、ペルラ・ロサレス ハバナ歴史事務所所長補佐、ネリス・ガルシア ハバナ歴史事務所国際協力局局長、イルミナ・ペロホ外国貿易・外国投資省アジア・オセアニア局担当官らが参加しました。



教育は基本的な権利であり、個人や社会の発展に欠かせないものです。草の根・人間の安全保障無償資金協力では、人間の安全保障を推進するために不可欠な分野として、教育分野の支援を重視してきました。

本プロジェクトでは、国際 NGO 多文化融合発展協会・パンドラに対し 77,816 ユーロを供与し、ハバナ県ハバナ・ビエハ区ラファエル・マリア・デ・メンディベ小学校に、机や椅子、本棚等の学校機材を整備しました。この小学校は、キューバ独立の父であるホセ・マルティが当時通った学校として知られており、文化的な価値の高い教育施設です。本プロジェクトを通して、約 400 名の児童が同校に通うことができるようになり、民主的かつ豊かで安定した国家を築く役割を担う子供たちの教育の質向上に寄与しました。



案件概要:

案件名:「ハバナ県ハバナ・ビエハ区ラファエル・マリア・デ・メンディベ小学校機材整備計画」

供与金額:77,816 ユーロ

被供与団体: 多文化融合発展協会・パンドラ

概要: ハバナ県ハバナ・ビエハ区ラファエル・マリア・デ・メンディベ小学校に机・椅子等の機材を整備し、学習環境を改善することで、初等教育の質の向上に寄与する。

プロジェクト・サイト



**Colaboración del
Pueblo Japonés**

在キューバ日本国大使館

開発協力班

Tel: (+53) 7204-3355, 7204-8904

cooperacioneconomicacuba@hv.mofa.go.jp